

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全3枚)

氏 名 上野 清隆

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)	<p>加賀市歴史的風致維持向上計画の第2期に向けた姿勢と体制整備について</p> <p>5年間の成果と課題について</p> <p>令和3年度からの5年間について、市としてどのような成果があり、どのような課題が残っていると認識しているのか。</p>	
	(2)	<p>第2期計画について</p> <p>歴史的風致維持向上計画は、全国的に見ても10年で終了する自治体はほとんどない。歴史的風致は、文化財の修復、街なみの形成、地域文化の継承など、長期的な視点が不可欠であり、2期目、3期目へと継続するのが一般的であり、継続性が重要であると考えます。</p> <p>加賀市として、2期目の必要性をどのように捉えているのか。</p>	
	(3)	<p>専門部局の設置などの体制整備について</p> <p>歴史的風致維持向上計画は、文化、都市計画、土木など、複数の分野にまたがる横断的な計画である。</p> <p>現状の体制では、担当者の異動でノウハウが途切れたり、部署間の情報共有が十分でないなど、限界があると考えます。金沢市や松江市、萩市などの成功している自治体では、「歴史まちづくり部局」や「文化政策課」などの専門の部署を設置して一元的に取り組んでいる。加賀市としても、2期目を見据えるのであれば、こうした体制整備が不可欠ではないかと考えるが、専門部署の設置や横断的な調整機能の必要性をどう考えているのか。</p>	
2	(1)	<p>歴史民俗収蔵庫資料移設事業について</p> <p>資料の保全環境について</p> <p>移設先として予定されている旧黒崎小学校は、海に近い立地であることから、塩害の影響が懸念される。文化財資料の保全においては、適度な温湿度管理や塩分・湿気の影響を最小限に抑える環境整備が不可欠であると考えますが、移設先の施設環境についてどのような調査を行い、対策が講じられているのか、具体的に示せ。</p>	
	(2)	<p>今後の展示・公開の方針について</p> <p>資料の保全と併せて、今後の公開に向けて展示場所や展示方法についても検討を行うとのことだが、現時点での構想や検討状況について問う。</p> <p>また、地域住民や学校教育との連携を通じて、郷土愛の醸成につなげるための具体的な取組についても示せ。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (3枚目/全3枚)

氏 名 上野 清隆

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
	(2)	<p>専門部会の構成と検討の進め方について 専門部会の構成メンバーはどのように選定されるのか。現場支援者や保護者、学校関係者の声が重要であると考えるが、参画はあるのか。 また、検討のスケジュールはどのように考えているのか。</p>	
5	(1)	<p>部活動の在り方改革について 部活動改革地域クラブ運営事業費について 加賀市、香川県三豊市、高知県須崎市、PwCコンサルティング合同会社と共に一般社団法人放課後共創基金を設立したとのことであるが、この基金をどのように活用し、地域クラブや放課後の学びの充実につなげていくのか。基金設立の目的や概要を示せ。 また、取組として、「放課後を維持・拡大する財源確保」、「放課後の選択肢を全国でシェア」、「企業と連携した放課後活動の創出」の3本柱で基金の運用益を活用するとあるが、これらの取組について、具体的な内容を示せ。 あわせて、基金の運用益を活用する仕組みについて、運用の方針やリスク管理など持続可能な運営に向けた方針を示せ。</p>	
	(2)	<p>地域クラブ活動費について 現在、地域クラブ活動費の対象となっている8運動部は具体的にどの部活動か示せ。 また、現在対象となっていないほかの部活動への展開について、所見を問う。</p>	
	(3)	<p>地域おこし協力隊の役割について 本事業において、地域おこし協力隊1名分の活動費が計上されているが、どのような役割を担い、どのような成果を期待するのか。</p>	
	(4)	<p>地域協働ブランディング事業費について 地域の多様なステークホルダーによる検討体制を構築し、地域の実情を反映した実効性の高い、部活動改革の方針を策定し、地域への浸透・理解を図るとあるが、この事業内容について具体的に示せ。 あわせて、ビジョン検討会の構成と運営内容についても具体的に示せ。</p>	